

呉市在宅医療・介護連携に関する相談実績

令和5年4月～9月

1 新規相談件数

月別区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	2	0	1	3	2	2							10

2 相談者の所属機関及び相談内容

所属機関

区分	件
地域包括支援センター	3
居宅介護支援事業所	
訪問看護ステーション	
介護サービス事業者	
病院・診療所	5
歯科	
薬局	
その他	2

職種

区分	件
ケアマネジャー	1
看護師	1
保健師	2
介護職	
医師	
歯科医師	
薬剤師	
医療ソーシャルワーカー	3
リハビリスタッフ	
その他	3

相談内容

区分	件
医療・介護連携の調整	1
医療機関の情報提供	3
介護施設の情報提供	
社会資源の情報提供	
在宅医療・在宅療養	2
入院支援	1
退院支援	1
その他	2

3 呉市在宅医療・介護連携に関する相談内容と対応

別紙2 参照

4 相談から見た現状と課題

- (1) 地域包括支援センターと地域医療連携室のケースについて、双方の伝え方や受け取り方に連携・調整における課題があることが共有できた。今後も相互理解を深め意見交換ができる場を提供することが必要である。また、迅速かつ簡潔に情報共有することができる体制づくりも必要である。
- (2) 退院調整について、退院前カンファレンスに参加し、退院後の生活について医療と介護の見立てにずれが生じていると感じた。本人や家族にとって最良の選択肢は何かを本人主体で協議し、本人や家族が納得できる選択肢をすり合わせながら調整することが重要であると感じた。
- (3) 市民からの相談について、情報収集のため、市ホームページから相談窓口を検索されていた。「呉市に何があるのか分からない」といった声もあり、地域資源の見える化を図る必要がある。

5 今後の対応

- (1) 相互理解や顔の見える関係の構築のため、引き続き多職種連携研修会を定期的に行う。また、業務に活かすことができるように、実践的かつ効果的な勉強会を行う。さらに、適切に情報共有することができる体制構築を行う。
- (2) 相互理解を深め、本人主体の退院調整ができるようにサポートしていく。また、退院調整における成功事例や困難事例などを用いて事例検討を行い、退院調整時の課題抽出や対応策を検討する。
- (3) 相談窓口の対象は医療・介護関係者であるが、市民のニーズを把握するとともに、情報提供及び関係機関につなぐことができるよう対応する。また、地域資源の情報収集に活用していただけるように、「くれ福祉のお役立ちサイト（しっとってクレ）」の情報を充実させ運用していく。さらに、市民に向けた在宅医療・在宅療養の啓発も行う必要がある。